

第4回グローバルヘルス政策研究センターセミナー 開催のお知らせ

来る2017年4月20日、第4回グローバルヘルス政策研究センターセミナーを開催いたします。今回は、精力的に国内外でご活躍の特定非営利活動法人（認定NPO）ピースウィンズ・ジャパン（PWJ）、および総合支援地域国際機関アジアパシフィック アライアンス（A-PAD）のCEO大西健丞氏を講演者にお迎え致します。PWJは、紛争や災害、貧困などの脅威にさらされている人びとに対して海外国内問わず支援活動を行う国際協力NGOです。アジアパシフィックアライアンス（A-PAD）は、アジア太平洋地域でNGO・企業・政府が災害支援のため国境を超えて相互に協力する仕組みです。

紛争や災害、貧困などの脅威にさらされている人々に対して海外国内問わず支援活動を行う国際協力NGOのピースウィンズ・ジャパン（PWJ）、およびアジア太平洋地域でNGO・企業・政府が災害支援のため国境を超えて相互に協力する仕組みである総合支援地域国際機関アジアパシフィックアライアンス（A-PAD）。両団体の統括責任者を務める大西健丞氏を講演者にお迎えし、災害支援・対策また感染症コントロールなどについて現在の活動、また今後の活動・目標についてお話いただきます。

大西氏の経歴・活動などの詳細はこちらのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.onishi-kensuke.net/>

日時	2017/4/20（木）10:00～11:30
会場	国立国際医療研究センター・研修センター棟1階 グローバルヘルス政策研究センター
言語	日本語（通訳なし）
テーマ	PWJとA-PADの活動について（災害支援・対策また感染症コントロールなど）日本の貢献と、今後の活動・目標の方向性
対象者	グローバルヘルスや保健医療政策・国際協力などに興味のある方
定員	50名（定員になり次第登録を締め切らせていただきます）
参加費	無料
申込方法	事前登録制

第4回グローバルヘルス政策研究センターセミナー 開催報告

2017年4月20日（木）、iGHPの主催による「第4回 グローバル・ヘルス政策研究センター・セミナー」が開催されました。

今回は国内外でご活躍の特定非営利活動法人（認定NPO）ピースウィンズ・ジャパン（PWJ）、および総合支援地域国際機関アジア・パシフィック・アライアンス（A-PAD）のCEO大西健丞氏を講演者にお迎えし、「日本の貢献と、今後の活動・目標の方向性」と題した講演をしていただきました。

大西氏はこれまで国際協力NGOの代表として、世界各地の紛争や災害、貧困などの脅威にさらされている人びとに対する支援活動に従事してこられました。時には生命の危険にさらされながらも着実に実績を重ねてこられた貴重な経験やノウハウをお話くださいました。加えて、今後の様々な社会問題の解決に取り組むためには、社会インフラの整備にとどまらず、産官学の組織連携の重要性にも言及されました。

また、アジア太平洋地域でNGO・企業・政府が災害支援のために国境を越えて相互に協力する仕組みについて分かり易く解説していただき、講演参加者はこれからの地域融和の促進や組織の壁を越えた連携へ繋げる必要性も認識することができました。また、国内で殺処分される犬を保護・訓練し、災害救助犬やセラピー犬として活躍させるピースワンコ・ジャパンといった社会貢献や、伝統工芸支援を目的とした芸術村の開発などの地域貢献という、様々な産業の市場でのダイナミックで革新的なソーシャル・イノベーションについても学ぶ事ができました。

最後に大西氏から、災害支援のみならず、防災・緊急医療、地域振興への取り組みには、現代社会の状況に適した資金調達仕組みと、問題解決の主役となれるような組織作りが「今後の日本における成長を促す事業展開の要となる」という貴重なメッセージをいただきました。（文責：岩城洋子・上地真泉）

